

丸亀市地域包括ケアシステム推進講演会

《開催の趣旨》

現在、平成37年に団塊の世代が75歳を迎えることを見据えた地域包括ケアシステムの構築が必要となっており、本市においても、地域包括ケアシステム推進協議会を設置し、医療・介護連携、予防と生活支援の2本の柱を中心に検討を進めている。本市では、人生の最期をどこでどんなふうに過ごしたいかを考えることは、そこに至るまでをどのように生きるかということを考えることにつながるとして、「自分らしい人生の最期を迎えるための選択肢を丸亀市の地域性を踏まえながら構築のあり方を示す」ことを地域包括ケアシステム推進の論点としている。しかしながら、現状での在宅の看取りは1割前後で、多くの方は病院で亡くなっている。市民のアンケート調査では、できるだけ住み慣れた自宅や地域で暮らし続けたいとの意向が多い中、看取りについて市民とともに考えていくことが必要である。

今回の講演会が、今後の本市の在宅医療のあり方を考えること、また、本人や家族、地域、専門職等それぞれが看取りについて考えるきっかけになる。

また、地域包括ケアシステムの推進には市民の参加が必須である。そこで、講演会参加者にアンケートを実施するとともに、ワークショップメンバーの募集をおこなう。

《講演会の目標》

- ・在宅での看取りとはどのようなものかについて良いイメージをもつことができる。
- ・市民、専門職等それぞれが看取りについて考えることができる。
- ・参加者に看取りに関するアンケートを実施し、市民の意向を確認することができる。
- ・地域包括ケアに関するワークショップを行うことができる。

《講演会の内容》

- ・「丸亀市における地域包括ケアシステムについて（仮称）」の現状報告
- ・講演会
- ・アンケートの実施およびワークショップメンバーの募集

○開催日時：平成29年1～2月の土曜日または日曜日

時間は13時30分～15時30分

○開催場所：丸亀市生涯学習センター3階ホール

○演 題：その人らしく生きるために～幸せな人生の最終章とは～（仮）

○講 師：写真家・ジャーナリスト 國森 康弘 氏

《講演会の周知》

- ・「國森康弘ミニ写真展」を行い市民の関心を高める（講演会前1ヶ月程度）
- ・チラシ、ポスターを作成し、様々な窓口・関係機関で配布
- ・広報、HPに掲載（ミニ写真展、講演会）

《講演会の主催》

丸亀市